

長野市民病院から  
知っておきたい  
医療の知識

159



時代劇やアニメを見る人は、こうした約束事を暗黙のうちに知っているの、安心して見ることができるとでしょう。

知っていることは安心感に、知らないことは不安や怖さにつながります。では、入院して手術や治療を受ける人とその家族はどうでしょうか。

### 正しい情報を事前に

手術が決まると患者

さんや家族は、けがや病気の診断や治療方法、病院の評判など、いろいろな情報を集めることとでしょう。医師や看護師から受けた説明のほかに、過去の経験、知人の口伝え、テレビやラジオ、雑誌や書籍、そしてインターネット……さまざまなか所から情報を得ることができ

り集めたりしている人もいるかもしれませんが、私たちは、患者さんが安心して手術を受けるために、麻酔について事前に正しく知ってもらうことに心を砕いています。

当院では、麻酔の説明を手術が決まった時から手術前日に、専門の麻酔科医が行います。

麻酔科医は、患者さんの年齢、病気の経過や持病、手術方法を確認し、どのような麻酔を行うのかを説明します。

### 手術後には相談も

患者さんの中には、以前の麻酔で痛かった、吐いてつらかった、尿道の管が痛かった—など、切々と訴える人もいます。私は、全身麻酔を麻酔科医が担当す

ること、麻酔の技術や装置が進歩していることを伝えます。さらに、説明に用いるパンフレットのイラストに酸素マスクとモニター、鎮痛剤専用の管、尿道の管、傷の内側に挿入する管、エコーモニター、入症候群予防のベルトなどを書き加えます。自分がどんな状態で手術を受けることになるのかを、あらかじめ患者さんに理解してもらうためです。

手術後には、会話や食事、日常生活に支障が出る場合があります。こうした患者さんの困りごとに対応するため、病院には、心理的な支援や生活、経済的な援助、就業支援について相談に応じる職員がいます。

ですから、安心して手術を受けてください。主人公は患者さん、あなたなのです。

初めは悪役が主人公を危機におとしつけますが、主人公はその危機を克服し、最後には必ず悪役を成敗します。



川上 勝弘

集中治療部部长、麻酔科副部長、手術センター科長  
専門は麻酔科

## 麻酔の説明



## 安心して手術を受けるために